

気候変動適応効果可視化事業

平成30年度予算額 **0.3億円（1.0億円）**

事業の内容

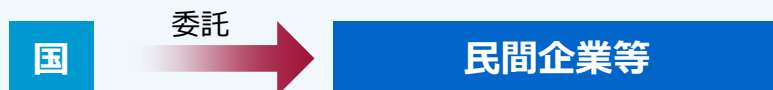
事業目的・概要

- 世界の適応ビジネスの潜在的市場規模は、2050年時点で年間最大50兆円と推計されるなど大きなビジネスチャンスの到来が予想されています。
- そうした可能性にもかかわらず、適応ビジネスに係る国内企業の認知度はいまだ低く、大型案件などにはつながっていないのが現状です。
- 経済産業省としては、人・情報の交流促進や普及・啓発を通じて、事業者の「気づき」を支援し、適応ビジネスの海外進出を活性化するための環境整備を行います。

成果目標

- 情報共有・人材交流の場の構築、入門書としてのガイドブック作成、適応ビジネスのグッドプラクティス事例集の作成・拡充、JETRO・JICA等との連携の道筋構築、成果指標作成・インセンティブ措置導入等により、事業者が適応ビジネスに進出しやすいような環境整備を行います。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

(1) 人・情報の交流促進

- 官民で適応ビジネス機会の認識を高め、知識、経験、情報を共有するための場を構築します。
 - 気候変動の潜在的リスクと機会の理解向上のためのビジネスガイドブックの作成
 - 適応ビジネスの成功例をまとめたグッドプラクティス事例集の作成・拡充
 - 海外政府関係機関への専門家派遣、海外からの政府関係者の招へい
 - ウェブサイトへの情報掲載

(2) 普及・啓発

- 国内外の各種会合の機会を活用し、適応ビジネスの普及、及び、我が国の技術が貢献可能な適応分野・技術等を紹介していきます。
 - 国際発信（COPのサイドイベントの活用等）
 - 国内発信（JETRO・JICA等のセミナーの活用、本事業の成果発表を行う国内フォーラムの開催）

(3) 効果測定

- 企業の取組を適応ビジネスに結びつけるための付加価値を創設します。
 - 適応ビジネスの貢献の「見える化」のための指標作成
 - 指標に基づく表彰等のインセンティブの創設